

日本 国家概况

○刘笑明 编著
○南开大学出版社



图书在版编目(CIP)数据

日本国家概况: 日文/ 刘笑明编著. —天津: 南开大学出版社, 2002. 9 重印

ISBN 7-310-01464-2

I. 日... II. 刘... III. 日语-语言读物, 日本概况
IV. H369. 4: K

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2000)第 35403 号

出版发行 南开大学出版社

地址: 天津市南开区卫津路 94 号

邮编: 300071 电话: (022)23508339

邮购部电话: (022)23502200

出版人 肖占鹏

承印 河北省昌黎人民胶印厂印刷

经销 全国各地新华书店

版次 2000 年 9 月第 1 版

印次 2002 年 9 月第 5 次印刷

开本 850mm×1168mm 1/32

印张 15.5

字数 384 千字

印数 8001—11000

定价 22.00 元

前 言

随着时代的发展,从事中日政治、经济、文化教育等交流工作人员和日语学习者越来越多。因此,很需要一本适合我国读者能够了解日本国家概况的学习教程。

此书是以我国从事日语教育的工作者、大专院校日语专业的学生和准备参加全国高等教育日语专业自学考试的考生为对象,从日本语教育的视点出发,考虑我国日语教学的具体情况并参照日语教学大纲及高等教育日语专业自学考试大纲而编写的。

本书主要由日本地理、现代日本社会和日本历史三部分组成。内容包括地理、历史、社会、政治、文化、经济、科学教育、工农业、企业经营、生活以及风俗习惯等方面的知识。为了便于学习,对于课文中出现的人名、地名及事件等难读汉字词汇都单独列出,并且每一章节都附有习题,便于掌握要点。此外,书后还附有日中友好团体和笔友会通讯录,为学习者能够和日本友人交流提供了方便之窗。此书非同于一般阅读性刊物,是日语学习者和高自考生以及希望赴日人员不可缺少的读物。

本书在编写过程中参考了日本有关资料,并且得到了多年从事日语教育工作的日本教师的指导,使其内容丰富、知识新颖、系统规范,具有实用性。此书如果能够使读者了解日本并对学习日语有所帮助,甚感欣慰。

在本书编写和出版过程中,得到了天津外国语学院成人教育学院翟忠和先生和南开大学出版社张华女士的亲切指导和热情帮助,在此谨致谢忱。

编 者

2000年5月

目 次

第一編 日本の地理

第一章 日本の位置と面積	3
第一節 位置と国土	3
練習問題	8
第二章 日本の人口と気候	9
第一節 総人口と大都市	9
第二節 日本の気候	14
第三節 季節風・梅雨・台風	16
第四節 自然災害	18
練習問題	20
第三章 日本列島	22
第一節 日本の地形	22
第二節 日本の山地	24
第三節 日本の川と湖	26
第四節 平地	28
第五節 海岸のまわり	30
第六節 植物と動物	31
練習問題	32
第四章 日本の資源	34
第一節 地下資源とエネルギー	34
第二節 森林資源	36
第三節 水産資源	37
第四節 公害	38
練習問題	40
第五章 日本の交通	42
第一節 陸上交通	42

第二節 海上と空の交通·····	4 4
練習問題·····	4 5
第六章 日本の各地方·····	4 7
第一節 北海道地方·····	4 7
第二節 東北地方·····	5 3
第三節 関東地方·····	5 7
第四節 中部地方·····	6 1
第五節 近畿地方·····	6 6
第六節 中国と四国地方·····	7 0
第七節 九州と沖縄地方·····	7 3
練習問題·····	7 6

第二編 日本社会

第一章 日本の政治·····	8 1
第一節 天皇の憲法上の地位·····	8 1
第二節 皇室の歴史·····	8 2
第三節 日本国憲法·····	8 4
第四節 日本の統治機構·····	8 6
第五節 選挙·····	8 7
第六節 日本の外交と自衛隊·····	8 8
第七節 現代の日本·····	9 0
第八節 中日関係·····	9 2
練習問題·····	9 4
第二章 日本の教育と科学技術·····	9 5
第一節 教育制度·····	9 5
第二節 科学技術領域·····	9 6
練習問題·····	9 8
第三章 日本の経済·····	9 9

第一節	戦後の日本経済の概観	99
第二節	日本経済の成功の要因	101
第三節	日本の貿易	102
第四節	日本の産業	105
第五節	農業	106
第六節	水産業	109
第七節	日本の工業	111
第八節	中小企業	114
第九節	工業の特徴	115
第十節	工業地帯	116
第十一節	商業	119
	練習問題	120
第四章	日本の企業経営	122
第一節	現代の企業	122
第二節	企業経営の特徴	123
第三節	意志決定の仕組み	124
第四節	年功序列と労使関係	125
第五節	雇用問題	127
第六節	社会保障制度	129
	練習問題	132
第五章	日本の文化	133
第一節	日本文化の起源	133
第二節	日本近代文化	134
第三節	生活の中の日本文化	141
第四節	日本文化の特性	144
第五節	マスコミ	145
第六節	日本の文学	147
第七節	能	151

第八節	狂言	152
第九節	歌舞伎	153
第十節	文楽	154
第十一節	生け花	155
第十二節	茶道	156
第十三節	書道	157
第十四節	日本画	157
第十五節	庭園・住宅	158
第十六節	相撲	160
第十七節	柔道	161
第十八節	日本の宗教	162
	練習問題	164
第六章	風俗習慣	166
第一節	日本の祭り	166
第二節	主な年中行事	168
第三節	贈答	170
第四節	日本料理	172
第五節	着物	174
第六節	婚儀	175
第七節	葬儀	178
	練習問題	179
第七章	日本人	181
第一節	国民性と自然観	181
第二節	言語行動	182
第三節	勤労意識と娯楽観	183
第四節	集団主義	185
第五節	ビジネスマンの付き合い	186
第六節	現代の家族	187

第七節 家計	189
第八節 日本人の一生	190
練習問題	191

第三編 日本の歴史

第一章 古代国家の起源	195
第一節 文化の始まり	195
第二節 農耕社会の成立	198
第三節 大和政権と古墳文化	201
練習問題	204
第二章 律令国家の形成	207
第一節 推古朝と飛鳥文化	207
第二節 律令国家の成立	210
第三節 平城京の時代	214
第四節 天平文化	217
第五節 平安初期の政治と文化	220
練習問題	223
第三章 貴族政治と国風文化	226
第一節 摂関政治	226
第二節 国風文化	230
第三節 荘園と武士	234
第四節 院政と平氏の台頭	236
練習問題	239
第四章 武家社会の形成	242
第一節 鎌倉幕府の成立	242
第二節 執権政治	245
第三節 幕府の衰退	249
第四節 鎌倉文化	252

練習問題	256
第五章 武家社会の成長	259
第一節 室町幕府の成立	259
第二節 幕府の衰退と庶民の台頭	265
第三節 室町文化	270
第四節 戦国大名の登場	276
練習問題	280
第六章 幕藩体制の確立	283
第一節 織豊政権	283
第二節 幕藩体制の成立	291
練習問題	300
第七章 幕藩体制の展開	303
第一節 幕政の安定	303
第二節 経済の発展	306
第三節 元禄文化	312
練習問題	315
第八章 幕藩体制の動揺	317
第一節 幕政の改革	317
第二節 幕府の衰退	323
第三節 化政文化	327
第四節 練習問題	334
第九章 近代国家の成立	336
第一節 開国と幕末の動乱	336
第二節 明治維新と富国強兵	342
第三節 立憲国家の成立と日清戦争	352
第四節 日露戦争と国際関係	363
第五節 近代産業の発展	368
第六節 近代文化の発達	373

練習問題	380
第十章 近代日本とアジア	385
第一節 第一次世界大戦と日本	385
第二節 ワシントン体制	390
第三節 恐慌の時代	395
第四節 軍部の台頭	400
第五節 第二次世界大戦	404
練習問題	412
第十一章 戦後日本の出発	415
第一節 占領と民主化	415
第二節 日本の復興	419
練習問題	422
模擬テスト (A)	424
模擬テスト (B)	431
難読漢字索引	438
歴史年表	470
日中友好団体通讯录	475
日中友好筆友会通讯录	479

第一編
日本の地理

第一章 日本の位置と面積

第一節 位置と国土

日本はアジア大陸の東側に南北 3,000 km にわたって、弧状に位置している島国である。日本の東と南西には太平洋があり、アジア大陸と日本の間には、オホーツク海と日本海と東中国海がある。

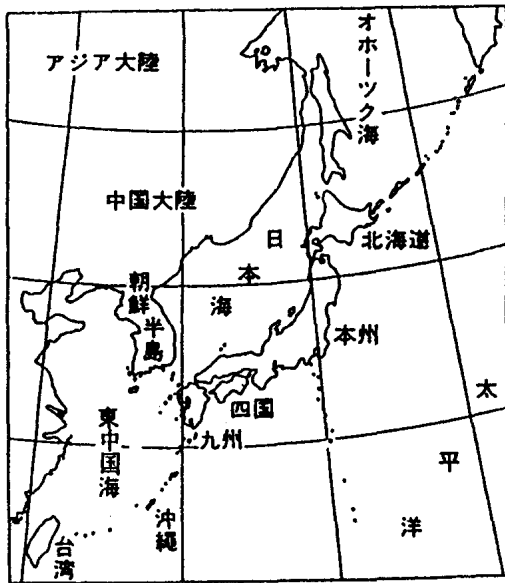
日本は日本海と東中国海を隔てて、中国、韓国、北朝鮮と向い合い、東は広い太平洋を隔てて、アメリカ大陸と相對している。北にはオホーツク海を隔てて、ロシアのシベリアがあり、南には太平洋を隔てて、フィリピンやインドネシアなどの国々がある。特に、朝鮮半島とは対馬海峡で、また樺太（サハリン）とは宗谷海峡で接しており、大陸や近隣の島々と極めて近い位置にある。こうした地理的条件は、大陸からの人間や文化の移動を容易にし、日本という国家の形成に大きな役割を果たした。

日本と中国は「一衣帯水」の隣国であり、上海から九州の長崎まで約 460 海里、台湾省から日本の南西諸島の南端までは、約 60 海里しか離れていない。

日本は東経約 123 度（沖縄県の与那国島）から 154 度（東京都の南鳥島）、北緯約 20 度半（東京都の沖の鳥島）から 45 度半（北方領土の択捉島）の間にあり、首都東京は東経 140 度、北緯 36 度にある。

日本の国土は本州・北海道・九州・四国の四つの大きな島ほか、散在する 4,000 弱の島からなっている。これらは日本列島と総称されている。

国土の面積は約 37 万 8,000 km^2 である。北海道は本州の北にあり、九州は本州の南西にあつて、四国は本州の南にある。その中で、本州の面積が一番大きく、全国面積の 61% を占めている。ついで、北海道は 22%、九州（沖縄県を含む）は 12%、四国は 5% をそれぞれ占めている。



日本の位置

日本の国土は、北から北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の九つの地方に分けられる。これらの地方区分は地形などの自然的特性と地域の産業や歴史の変遷を基礎にして分けられたもので、行政上の地方区分ではない。

行政上では、日本は1都（東京都）、1道（北海道）、2府（大阪府、京都府）、43 県に分けられている。東北地方と関東地方には県が十二あり、中部地方には九つの県があり、近畿地方と中国地方には県が十、四国地方には県が四つ、九州地方には県が七つある。沖縄地方は沖縄県一つである。日本の都、道、府、県にはそれぞれ都庁、道庁、府庁、県庁が設けられ、その下に市、町、村、などの順序で行政機構が設けられている。

日本の47の行政区域の中で、面積が一番広いのは北海道で、東京都の37倍もあり、一番狭いのは大阪府で、北海道の45分の1しかない。

行政区一覧表

内訳 地方	行政区	面積 (km ²)	庁所在地
北海道	北海道	83519.25	札幌市
東北 地方	青森県	9001.97	青森市
	岩手県	15095.18	盛岡市
	宮城県	7291.52	仙台市
	秋田県	11433.08	秋田市
	山形県	9326.60	山形市
	福島県	13783.39	福島市

次のページの表に続き

関東地方	茨城県	6093.65	水戸市
	栃木県	6413.79	宇都宮市
	群馬県	6355.61	前橋市
	埼玉県	3799.32	浦和市
	千葉県	5145.72	千葉市
	神奈川県	2401.18	横浜市
	東京都	2160.64	東京都
中部地方	新潟県	12111.27	新潟市
	富山県	4252.18	富山市
	石川県	4197.30	金沢市
	福井県	4191.22	福井市
	山梨県	4254.01	甲府市
	長野県	13133.20	長野市
	岐阜県	10595.75	岐阜市
	静岡県	7324.59	静岡市
近畿地方	愛知県	5135.92	名古屋市
	三重県	5777.08	津市
	滋賀県	4016.00	大津市
	京都府	4612.89	京都市
	大阪府	1866.85	大阪市
	兵庫県	8376.06	神戸市
	奈良県 和歌山県	3692.15 4723.78	奈良市 和歌山市
中国地方	鳥取県	3492.65	鳥取市
	島根県	6628.22	松江市
	岡山県	7089.33	岡山市
	広島県	8464.57	広島市
	山口県	6103.60	山口市
四国地方	徳島県	4145.20	徳島市
	香川県	1881.50	高松市
	愛媛県	5670.52	松山市
	高知県	7107.03	高知市

九州 地方	福岡県	4955.11	福岡市
	佐賀県	2433.06	佐賀市
	長崎県	4110.06	長崎市
	熊本県	7214.79	熊本市
	大分県	6336.44	大分市
	宮崎県	7179.43	宮崎市
	鹿児島県	9163.44	鹿児島市
沖縄地方	沖縄県	2250.87	那覇市

